

マルチセキュリティシステム

盗難通帳・キャッシュカード、偽造印鑑をつかった不正取引の増加にみられるように、従来の本人確認手段の不備が明らかになって来ております。安全・確実・簡単で、幅広い年齢層にとって抵抗なく利用可能な本人認証とは何かを追求した答えがここにあります。

特長

本システムは、機密情報の覗き見を許さないセキュアードディスプレイ、利用者を特定し、履歴管理可能なIDカード(非接触ICカード)、本人の記憶に基づくパスシンボル設定を行うニーモニックガードを組み合わせた本人認証システムです。

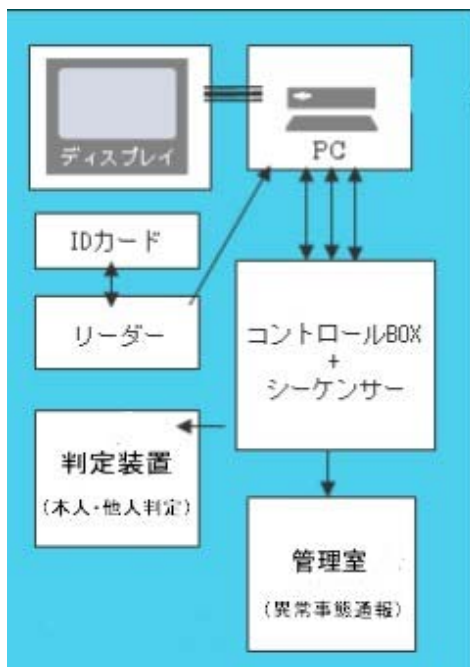
可視化フィルムなしでは画面表示を見ることの出来ないセキュアードディスプレイ上で操作するので、周囲の人に入力内容を覗き見される心配がありません。

万一IDカードを紛失しても、本人の記憶に基づくパスシンボルを他人が類推することは不可能なため、他人による不正アクセスを排除します。

パスワード入力を強要された場合には異常事態を通報する機能付きです。

システム構成

- ・ セキュアードディスプレイ(非接触ICカードリーダー内蔵)
- ・ 非接触ICカード
- ・ 視覚長期記憶型認証ソフト=ニーモニックガード
- ・ PC、コントローラ、画面閲覧用メガネ
- ・ 判定結果表示装置



可視化フィルムで
画面を見ると...



操作手順

登録

認証画面作成用画像データを用意し、認証画面用ライブラリー作成

アクセス用ICカード登録

パスシンボル表示方法・入力方法を設定するとともに、パスシンボル登録



運用



セキュアードディスプレイに内蔵されたリーダ部にアクセス用IDカードを近づける

登録済みIDカードと識別されるとディスプレイの電源点灯、IDカードで指定した認証画面起動

可視化フィルムをかざす、もしくはメガネをかけて認証シンボル入力



本人認証

認証画面に表示されたユーザにとって忘れ難い思い出の画像はどこにあっても目に飛び込んで来るので、迷わず、確実に選べます。

他人判定

正規ユーザなら押すはずのないシンボルを選択する、選択シンボル個数が登録と異なる等、本人なら犯しそもない入力とは他人と判定し、シャットアウト

異常事態

パスシンボル入力を強要された場合には、正解パスシンボル入力後にSOSシンボルを押して異常事態を通報